

医学部 医学科

入学者受入れの方針 (アドミッション・ ポリシー)

－このような人を育てます－

医学部における教育に関する方針は、「医療に求められる使命感、倫理観、臨床判断力・実践力と医学・看護学研究を推進する創造的研究力を培い、人類の健康と福祉に貢献する医療人を育成する」ことです。

医学科では、基礎医学、社会医学、臨床医学の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち、コミュニケーション能力に優れ、幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力、自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力、あるいは地域及び国際社会における健康の増進、疾病の予防に寄与し、人類の保健、繁栄に貢献できる能力を養います。

－このような人を求めます－

医学科では特に以下の人を求める。

- 医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
- 入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
- 困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
- 地域医療への貢献に対する意識を持っている。

－入学者選抜方針－

●一般選抜前期日程

医学科では、大学入学共通テスト以外に大学入学共通テストだけでは不十分と思われる内容に関して個別学力検査を課し、両者の総合点で科学的、論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価します。面接で、医師としての適格性を判断することにより、アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

●一般選抜後期日程

医学科では、大学入学共通テスト以外に大学入学共通テストだけでは不十分と思われる内容に関して個別学力検査を課し、両者の総合点で科学的、論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価します。面接で、医師としての適格性を判断することにより、アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

医学科では、大学入学共通テストの成績で、論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価し、2日間の詳細面接並びに小論文で、医師としての適格性を評価し、アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。